

# 平成25年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大 阪 市 立 墨 江 小 学 校

児童数

109

## 平均値

	種目別平均								
	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点
男子	16.57	21.15	28.75	41.57	47.02	9.22	154.85	23.49	53.29
大阪市	16.45	19.14	32.01	38.22	47.80	9.38	149.19	23.45	52.26
全国	16.63	19.54	32.74	41.41	51.41	9.38	152.07	23.19	53.87
女子	15.20	16.75	31.50	35.71	30.08	9.54	146.51	14.98	51.63
大阪市	16.00	17.41	36.30	35.86	36.32	9.65	140.82	14.06	52.84
全国	16.14	18.06	36.87	39.06	39.66	9.64	144.55	13.94	54.70

## 結果の概要

男子は、8種目中5種目（上体起こし・反復横とび・50m走・立ち幅跳び・ボール投げ）、女子は、8種目中3種目（50m走・立ち幅跳び・ボール投げ）で全国・大阪市平均を上回った。特に、男では50m走、女子については、立ち幅跳びでその差が顕著であった。一方、握力と長座体前屈については、男女とも全国平均を下回った。

## これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度の全国体力・運動能力調査では、男子が全国・大阪市平均を8種目中5種目で上回ったが、女子は8種目中5種目が下回る結果となった。また、運動習慣等調査の結果と課題については下記のとおりである。

○男女とも運動・スポーツに対する意識が低く、運動やスポーツが「好き」「得意」「体育の授業が楽しい」とする回答が、全国・大阪市平均よりいずれも下回った。

○男女とも基本的な生活習慣については、ほぼ身についていると言えるが、「朝食を毎日食べない」という回答の割合が全国・大阪市平均を2倍から3倍以上上回っていることから、家庭への呼びかけがさらに必要と言える。

○運動・スポーツのきっかけを友だちとの関わりにあげている傾向が見られることから、友だち関係づくりが今後の課題といえる。

○体育の授業の中で、「先生にほめてもらえる」「友だちと協力して学習している」「運動のコツやポイントがわかる」「できなかったことができるようになる」といったことが実感できるような授業づくりに取り組んでいくことが今後の課題といえる。